

市民クラブ 太田 龍三 議員

交通安全対策について

(質問) 緊急車両優先システムの導入について。

(答弁) 過去30年における信号交差点での常備の緊急車両の事故は、救急車によって計4件起きている。緊急車両優先システムは、「現場急行支援システム」といわれ、警察庁の推進する光ビーコンを活用した「新交通管理システム」の一環として、パトカーや救急車などが迅速に現場など

に急行できるように信号機の制御などを行うものである。本消防本部としても、緊急自動車の交通事故防止対策は重要な課題と認識しているが、基本的に警察庁が実施する事業であり、まだ試行的な段階であること、大きな経費が必要であること、一般車両のスムーズな走行、歩行者の横断にも影響を与えることから、三重県警察本部と十分に調整を図りつつ、三重県消防長会での議論も踏まえて、調査研究を進めていきたい。

その他の質問 ○歯科口腔保健対策について

市民クラブ 大西 克美 議員

インターハイ、国体種目誘致について

(質問) インターハイ、国体種目誘致について。インターハイ、国体の市開催種目の現況と今後の予定について。市立体育館の改修について。宿泊施設の準備と経済効果について。

(答弁) インターハイは開催種目の決定を待っている。国体については、現在県内で最も多い6競技9種目が内定しており、開催可能な施設

は全て会場地として選定されている。市立体育館は補修により一定の延命が可能であるとの調査結果が出ており、財源の確保に努めながら施設整備を検討したい。宿泊施設は市内だけで確保することは困難であり、近隣市町も含んだ対応が必要である。調整は、県が配宿センターを設置して宿泊者の割り振りを行うことになると思われる。全ての会場が決定していないため推計には至っていないが、経済効果は大いに期待できると考えている。

その他の質問 ○ふるさと納税について

リベラル鈴鹿 水谷 進 議員

自殺の予防について

(質問) 児童生徒の自殺予防について、どのような課題を持って取り組んでいるのか。

(答弁) 学級担任や養護教諭さらに教育相談を担当する教職員などは子どもの自殺の実態や子どもに特徴的な自殺の危険因子、自殺の危険性の高い児童生徒への適切な対応などについて理解を深め早期発見、早期対応を図る必要がある。

その為、児童生徒の自尊感情を高め命の大切さを実感できる教育や生活上の困難・ストレスに直面し危険に陥った際の自分自身や友人への関わり方などの適切な対処や対応方法といった児童生徒の自殺予防を目的とした教育の推進とその為の校内の協力体制を築く必要があると考える。今後も自殺予防に向けた研修を重ね組織的な体制の整備と共に教職員の資質の向上を更に図る取り組みを進めていきたい。

その他の質問 ○地域の活性について

平明の会 矢野 仁志 議員

全国学力・学習状況調査

(質問) スタディ・チェックとの違い。結果をどのように活用しているのか。教育長としてどのような結果が望ましいと考えているのか。

(答弁) 全国学力・学習状況調査は、小学校6年生及び中学校3年生のみ、年に1回の実施、主に知識に関するA問題と主に活用に関するB問題から構成されているところにみえスタディ・チェッ

クとの違いがあり、全国的・多面的なデータに基づいて、本市の状況と課題を把握することに活用されている。この調査結果は、学習指導要領の定着度の指標になると考えており、来年度は市内全ての学校で全国標準となることを目標としている。今回、本市の結果に改善傾向が見られることから、本年度の結果も丁寧に分析し、教員の意識向上も含め授業改善などに取り組んでいきたい。

その他の質問 ○スタディ・チェック

○土曜授業の実施について